

第3回 野洲市の景観を考える委員会会議録

要約版

開催日時...平成23年3月29日(火)14時~16時

会場...中主防災コミセン2階防災研修室

1.開会

【委員長】 皆さんこんにちは。東北の太平洋沖の地震では、国を挙げて支援していかないといけないという状況になっている。謹んでお見舞い申し上げたい。

前回の委員会では、委員の皆さんのご意見を踏まえて設定したルートを現地調査して頂いた。野洲市の景観の現状について具体的にイメージして頂けたと思う。

本日は、まず、市が1月に実施された市民アンケート、事業者アンケート、2月から3月にかけて実施された市民ワークショップの結果について事務局より報告を頂く。

その後、我々委員のアンケート、市民・事業者アンケート、ワークショップの結果を踏まえて、野洲市らしい景観まちづくりについて本格的な議論をしていきたいと思う。

委員の皆様には、当委員会は今後の野洲市の景観まちづくりにおいて重要な役割にあるという認識のもと、活発に議論をお願いしたい。

【部長】 皆さんこんにちは。東日本大震災で東北を中心に、未曾有の惨事になっている。被災された方に対しては、心からお見舞い申し上げるとともに、亡くなられた方につきましては心からお悔やみを申し上げたい。市民の方からは、物資なり義援金を頂戴し、義援金も500万円を超えたところである。物資は第一陣として福島県の相馬市に送らせて頂いた。この場を借りて厚くお礼を申し上げたい。

(事務局：配布資料の確認)

【委員長】 本日の案件は、市民等意向調査の結果について意見交換をすることになっており、特に非公開にする理由は無いので、この会議については傍聴を認めることとする。

議事の進め方についてだが、次第2の委員アンケートの整理および市民等意向調査結果については、資料4から資料8を使って事務局の方から一括して説明して頂き、次第3の意見交換で一括してご意見を伺いたいと思うが、いかがか。

【委員】 異議なし。

【委員長】 それではそのように進めさせて頂く。

2. 議事

【事務局】 第2回委員会のアンケートを整理したので、報告させて頂く。資料4は、前回の委員会で実施した現地調査について、委員の皆様のご意見やご感想を、ルート上の主なポイントについて項目ごとに整理したものである。時間の都合上、詳細についての報告は割愛するが、それぞれの委員の方の思いを委員皆様で共有していただくための資料なので、ご確認頂きたい。

続いて、市民等意向調査結果の報告をさせて頂く。資料5の2ページの調査概要だが、調査は1月13日から1月28日までの期間で実施し、対象は、16歳以上の市内在住者1000人とし、各学区で約140人の方にご協力頂いた。回収数は339、回収率は33.9%であった

次に、アンケート調査の主な回答内容だが、5ページは、三上山の眺めとして、どのような眺めを保全すべきかについて集計したものである。グラフでは、項目ごとに、市全域と学区ごとの割合を掲載しており、赤で囲んだ項目は、市全域で30%以上の回答があった項目を示している。時間の都合上、市全域の結果について報告する。

最も高かったのは、「1.野洲川などの河川と調和した眺め」(60.2%)、次いで「2.田園と調和した眺め」(56.0%)、「8.琵琶湖沿岸からの眺め」(44.5%)となっている。

続いて、6ページから9ページについては、「野洲市らしい景観」、「未来に残したい景観」、「新たに創り出したい景観」、「これから改善したい景観」について集計したものである。

まず、6ページの「野洲市らしい景観」で、最も高かったのは、「10.三上山の眺望景観」(41.3%)、次いで「8.田園景観」(33.0%)、「9.田園と調和した集落景観」(31.9%)となっており、自然的景観に関する項目が上位を占めている。

次に、7ページの「未来に残したい景観」で、最も高かったのは、「7.神社仏閣や社寺林の景観」(53.7%)、次いで「10.三上山の眺望景観」(51.3%)、「16.琵琶湖沿岸の景観」(44.5%)、「5.旧中山道や旧朝鮮人街道沿いの景観」(42.2%)、「11.里山景観」(40.7%)となっている。30%以上の項目は8項目あり、いずれも歴史的景観や自然的景観に関する項目となっている。

次に、8ページの「新たに創り出したい景観」では、最も高い値でも25.1%と、『未来に残したい景観』や『野洲らしい景観』の最高値が40~50%台であることに比べると相対的に低い値となっている。最も高い項目は「2.計画的に整備された住宅地の景観」で、次いで「1.野洲駅周辺の景観」(23.0%)、「3.大規模工場のある景観」(17.7%)となっており、市街地景観に関する項目が上位を占めている。

次に、9ページの「これから改善したい景観」で、最も高かったのは、「1.野洲駅周辺の景観」(38.9%)、次いで「4.国道8号などの幹線道路沿いの景観」(36.6%)、30%は超えていないが、「3.大規模工場のある景観」(26.8%)となっており、『新たに創り出したい景観』と同様に、市街地景観に関する項目が上位を占めている。

なお、10ページでは、景観ごとに必要と考えるルールについて集計したものである。これらの結果については今後、景観計画を策定する段階で、検討資料としたい。詳細をご確認頂きたい。

続いて、11ページは、「住民の景観まちづくりの活動」を進めるために必要なことについて集計したものである。最も高かったのは、「3. 地区の住民が一緒に景観づくりに取り組むことのできる仕組み」(40.4%)で、次いで「6. 住民、事業者、行政がともに景観について考える協議会の設置」(35.4%)となっており、皆で検討する仕組みに関する項目が上位を占めている。

次に12ページは、景観まちづくり活動に参加したいかどうかについて集計したものである。市全域では、「1. 積極的に参加したい」と「2. 都合があれば参加したい」の合計が、68.2%と約7割の方から参加したいという結果を頂いた。問7と問8の結果については、今後、市が景観まちづくりを進めていくうえで、参考にさせて頂きたい。

なお、12ページ以降では、自由意見について、景観に関するもののみ掲載している。詳細をご確認頂きたい。

以上、市民アンケートの調査結果の報告とさせて頂く。

次に、事業者アンケートの結果を報告させて頂く。事業者アンケートは、事業者の景観まちづくりの取り組みについて把握することを目的に実施したものである。

資料6の2ページの調査概要であるが、調査は市民アンケートと同時期に実施し、野洲市商工会および野洲工業会の会員から100事業者にご協力頂いた。回収数は53、回収率は53%であった。

次に、アンケート調査の主な回答内容について、3ページを見て頂きたい。事業所で『現在行っている』景観まちづくりの取組として、最も高かったのは、「敷地内や周辺道路等の清掃活動」(67.9%)で、次いで「敷地内の緑化活動」(50.9%)、「景観に関する地域活動等への参加」(30.2%)となっており、これらが上位三位を占めている。『将来行う予定』の取組についても、上位三位の傾向は『現在行っている』とほぼ同様となっている。

次に、4ページを見ていただくと、市民アンケートと同様に、「野洲市らしい景観」、「未来に残したい景観」、「新たに創り出したい景観」、「これから改善したい景観」について集計したものである。

まず、『野洲市らしい景観』で最も高かったのは、「10. 三上山の眺望景観」(30.2%)であった。

次に、『未来に残したい景観』で最も高かったのは、「7. 神社仏閣や社寺林の景観」(62.3%)で、次いで「10. 三上山の眺望景観」(60.4%)、「16. 琵琶湖沿岸の景観」(54.7%)、「11. 里山景観」(47.2%)、「5. 旧中山道や旧朝鮮人街道沿いの景観」(41.5%)となっており、歴史的景観や自然的景観に関する項目が上位を占めている。

次に、『新たに創り出したい景観』は、30%を超える項目はなかったが、市街地景観に関する項目が上位を占めている。

次に、『これから改善したい景観』で最も高かったのは、「1. 野洲駅周辺の景観」(30.2%)であった。『新たに創り出したい景観』と同様に、市街地景観に関する項目が上位を占めている。

なお、5ページでは、景観ごとに必要と考えるルールについて集計したもので、これらの結果も市民アンケートでの結果と同様に、今後、景観計画を策定

する段階で、検討資料としたい。詳細はご確認頂きたい。

6 ページ以降では、自由意見について、景観に関するもののみ掲載している。詳細はご確認頂きたい。

以上、事業者アンケートの調査結果報告とさせて頂く。

次に、市民ワークショップの結果を報告させて頂く。

資料7をご覧頂きたい。2月末から3月中旬にかけて、7学区ごとに開催し、全体で74人の市民の皆様にご参加頂き、大変多くのご意見を頂いた。

結果は、学区ごとに掲載している。青色は将来に残したい景観、茶色は改善したい景観、ピンク色は新たに創り出したい景観、灰色はその他としている。

各学区で共通して出された主なご意見としては、将来に残したい景観では三上山、琵琶湖、河川、田園等の景観、改善したい景観では、野洲駅周辺、幹線道路沿いの景観、新たに創り出したい景観では、野洲駅周辺、河川沿いや幹線道路沿いの緑化等に関するもので、概ね市民アンケート結果と同様の内容となっている。詳細は資料をご覧頂きたい。

続きまして、資料8-1をご覧頂きたい。この資料は、委員の皆様アンケート結果、市民・事業者アンケート、市民ワークショップの結果を、委員の皆様が野洲市の景観について議論していただきやすいよう、整理したものである。

内容は、自然、市街地景観など項目ごとに、現状、残したい、改善したい、新たに創り出したい景観についてまとめている。黒字の委員の皆様からのご意見を基本に、赤字の市民アンケート(30%以上)、ピンク字の事業者アンケート(30%以上)によるご意見、青字の市民ワークショップによるご意見、緑字の市民アンケートの自由意見を加える形でまとめている。

また、資料8-2については、資料8-1でまとめた景観要素について、具体的な位置をイメージしていただくために作成した地図である。

以上、委員アンケートの整理および市民等意向調査結果についての説明とさせて頂く。

3. 意見交換

【委員長】 意見交換に入りたい。事務局から説明があった資料8-1を基に、野洲市の景観の将来像と、景観づくりの方向性について議論していきたい。

資料は事前に配布しているので、目を通していただくと考えて進めさせて頂く。意見交換をする上で、意見があれば先にお伺いしたい。

【A委員】 野洲市の景観全体像についての共通認識がないので、委員会として知っておく必要があると思う。それについて意見を述べたいがよろしいか。

【委員長】 結構です。

【A委員】 資料を持参したので、そちらをご覧になっていただきたい。

野洲市の景観全体の特徴は3つあると思う。1つは三上山だけでなく三上山を中心とした16の山並みがある。

2つ目は、野洲川と日野川に挟まれてつくられた広大な平野、田園がある。

3つ目は、日本一の琵琶湖がある。

この3つを持っているというのが、野洲市の景観上の、他のまちでは見られない、非常に素晴らしい所と言いたい。

市長は、あやめ浜から見られる琵琶湖の景観は、スイスの観光地の湖と見劣りがしないぐらい素晴らしい景観だと認識されている。今年は雪が積もり比良

山系は手が届くような感じであった。

三上山、比良山、田畑と日本一素晴らしい所。また、あの山に夕日が沈む景観が素晴らしい。

昔は、湖岸には150mぐらいの葦原があった。この湖岸をなんとか取り戻したいと、今、葦を植えかけている。また、野田沼、須田沼とかいう50haぐらいの内湖に船が行き来して素晴らしい水郷景観があった。こうした沼も食糧増産施策で無くなってしまった。

野洲市には、辻ダムから琵琶湖へ注ぐ家棟川が通っている。家棟川の河畔林は無くなってしまったが、ビワマスが一年間で30匹ぐらい遡上している。家棟川も、素晴らしい市の景観になるのではないか。

【委員長】 市全体の俯瞰的なものと、人間の視点を気付かせて頂いた。

野洲は、三上山から琵琶湖に至る断面系、先にある比良までが1つの風景として取り込んで、凝縮された他には無いものを全部持っている。それを川がつかないでいる。田園もあるし景観的な要素を全て持っている。

他に、意見は無いか。

【B委員】 高島市の並木道が素晴らしいと思った。市の景観としては並木道があった方が良くと思う。

もう1つ、里山の中に池や川を利用してビオトープみたいなものを作ったらどうかと思う。

【C委員】 ビオトープに関連して、喜合の近くに、江口川親水公園がきれいに整備されている。景観としてうまく利用できると思う。

比江、竹生には、のどかな田園風景があるが、旧野洲川の右岸に道路が走り電柱ができると景観が変化するので、恐怖を感じている。

【A委員】 1億円かけてつくられたビオトープが家棟川の左側にあるが、今は、水が涸れ、汚くて様にならない状態である。

【委員長】 ビオトープは人の手で作るとなかなか難しい。東京でも環境共生住宅などで取組みがあるが、うまくいっていないことが多い。

【B委員】 環境に対する補助金はあるのか。

【部長】 環境整備面ではあるかもしれない。

【A委員】 国が23年度で1億円の予算をつけているので、もし、滋賀県がとれたら野洲で内湖、葦、砂地にするとか試験的に事業をやって欲しい。

【委員長】 皆さんの記憶にある良い景観を復活させるというのも1つのテーマかもしれない。

【D委員】 集落の中を通る水路を含めて、水路に殆ど水が流れていないという状況があるが、どうしようもないものなのか、何処からか水を引けるものなのかご意見を聞きたい。

集落の中の水路は蓋をかぶせられ道路になってしまう。各集落の外周に大きな駐車場を作って集落の中に車が入らないようにすることはできないか。

旧街道には殆どバイパスができていますので、車を通す道ばかりでなく古い道なりの活かし方があるのでは。

三上山は周りからの景観が大切で、周辺の建造物等、何を作るのか、作れないのかが問題になっている。

【委員長】 三上山について、回りにあるものを整理していくことが、景観が保たれることに繋がっていくというご意見であった。

【E委員】 資料に目を通すと、やはり市民の皆さんは、三上山を大事にしていると思う。歴史的な景観ということで神社・仏閣、歴史のある祇王井川であったり、朝鮮人街道であったり、中山道であったり、そういうものをずっと大事にしているのだと感じた。

資料8-1の写真を見ていると心が和み、素晴らしいところに住んでいるのだなと、共通の宝だという思いがする。しかし、ページが進むと市街の看板が出てきたり、新しい建物が出てきたりして少ししんどくなる。その中で市街地だけでなく郊外にどんどん建物が建ってくると規制が必要になると思う。

市内各地から三上山が見えるという眺望景観はすごく大事と思うが、ポイントを点で残していくことも大事だと思う。

市民ワークショップでは、自分達の住んでいる学区の自然や歴史ある環境を大事にしている意見があった。そういうものを学区の皆さんが協力しながら手を加えて良い環境にしていくことも大事と思う。学区ごとの取組みが、市全体の調和になってくるのではないかな。

【委員長】 建築物には、建築基準法などで規制がかかっているが、これが今の景観になっており、このままでは良くないと思う。

琵琶湖が遠くに見えたり、三上山が見えたりするときに建物の高さ等のルールを作ることによって貢献できるのではというご意見だと思う。色や形も含めて風景になじむルールみたいなものが必要ではないか。また、ここからの三上山の眺望は絶対守るという視点場を設定してはどうかという意見であった。

人がいなければ景観なんてことはありえないので、人と自然が調和していることが大事だと思う。

【F委員】 前回、現地調査したとき、ピンク色のパチンコ店があった。今後、そういう建物が増えてくるともっと目立ってくると思う。

朝鮮人街道についても、きれいな祇王井川があって、歴史的なものもあると思うが、車を止めることができなく、歩いて回りにくい。三上山にしても車を降りて歩いていくことは可能だが、三上山からその周辺への案内はない。全体としての繋がりを構築できれば、良くなると思う。

【委員長】 パチンコ店や広告などについては、景観条例や計画で決めていかないといけない。今は無いので割と自由にやっている。

札幌では、札幌にちなむ馬鈴薯とかいう名前の色を付けられていて、新しい建築を建てるときはその色を使ったり要請したりできるようになっている。野洲にはいろんな色があると思うので、例えば三上山などの色を作り、企業に協力してもらうことも必要だと思う。この色を使うなどはいいにくいので、ランドスケープとか植栽とか色で事業者と協力してもらい、連動していければ良いと思う。

三上山に関しては下から見るだけでなく、上から見降ろすという視点も大事であると気付かせて頂いた。

【G委員】 市民アンケートの問7の「今後、景観まちづくり活動に参加したいとお考えですか。」では、篠原の人達は「積極的に参加したい」、「都合があれば参加したい」を合わせると全体の64%と市全域と同様の結果となっている。皆さんの

意識がここまで高まっているのだから、これを1つにまとめて、今後に活かしていきたい。

景観づくりには金と時間と労力があると思うが、景観に関する意識が高いので、できるだけお金をかけずに皆で街をきれいにする取組みができるのではないかな。

例え話だが、大規模の会社の景観について、近くから見るのと、遠くから見るのでは、見え方が違ってくると思う。どういう景観を創っていけばよいかを、私達で検討しないといけないので、気持ちが引き締まる思いである。

朝鮮人街道や中山道について、どこまで車を規制できるか分からないが、リュックサックを持って散策ができるようにしたいと思う。こうした取組みを、野洲から発信してほしい。

水路に水を流すことは難しいと思うが、道は現在通っているものなので、行畑の商店街の復活とか、野洲駅前の景観の復活をかけて、何とか皆さんでやっていきたいと思う。

【委員長】 市民アンケートの調査結果では、7割近い、非常に多くの市民が、景観まちづくりに対する意識が高い。委員会でビジョンを持っていけば、いろいろな方に協力して頂けて動き出すきっかけになると思う。

【B委員】 日経（新聞）で、安藤忠雄さんの「私の履歴書」という記事があり、景観まちづくりの参考になるので紹介したい。

1つは神戸の小学校で、一年生の時にどんぐりを集めて苗木をつくって、六年生の時には大きくなっているという運動を安藤さんがして成功している。今では、結構あちらこちらに広がっている。

それから、大阪市の大川で3万本の桜を植えようという試みをやっている。1本植えるのにメンテナンスもかけて15万円かかるので、必要な4億5千万円を寄付で集めたいと何年か前に始めたが、結果、5億2千万まで集まったというものであった。

幸い、アンケートでは景観づくりに対する市民の意識が高いので、いろいろ考えていくことができると思う。

【A委員】 さっき言った琵琶湖湖岸の葦植えには、オリーブ基金として、安藤先生から380万を補助してもらっている。中主小学校の生徒に苗を植えてもらっている。

【委員長】 市外の方に協力して頂けて、非常に幸せなまちと思う。

野洲にふさわしい樹種や元々親しまれている木を調べて、皆で植えていくのもよい。生き物も子供の成長に合わせて成長していく。人が生きていることそのものが景観になっている。街がきれいなところは、住んでいる人達も心がきれいだという印象を受ける。そういう意味で、早くから子供達と一緒に仕掛けを作っていくのも1つの方法と思う。

【E委員】 北野学区のワークショップに参加した時に、地域の人達の活動で木が植えられて、素晴らしいというような話があった。中の池川の祇王井川から分水した辺りの桜並木がすごくきれいで、ホテルも生息しているとのこと。地域の人達が桜を植え、水をきれいにしている。

その下流の童子川は、土手にも堤防にも何もないので、学区の皆さんは、そこにサイクリングロードを整備したり、植樹をしていくと良いというお話であ

った。今、地図を見て再確認したが、童子川は野洲市の真ん中に流れていて、比良の方も見られるし、三上山の16の山も見える素晴らしい場所なので、その辺をメインにしながら全てを眺望できるポイントにすると良いと思う。

【G委員】 中の池川ではホタルを飛ばすために、川の両側に壁を造っていない。ホタルは水を上げて土の中に籠もらなければならないので、そういう場所を残している。行政がやっているのではなく、地元の人達が主体的にやっている。

【A委員】 昔、兵主と中里の水路には水があり、ホタルやサワガニやメダカがいっぱいいたが、野洲川の改修で水がなくなってしまった。兵主と中里の景観問題はせせらぎのある川が欲しいというのが地域の意見の中心。今後の景観の計画の中に入れてもらわないと、地域の方に叱られるので、そこは抑えておきたい。

【部長】 景観を守るためには非常にお金がかかる。

水路は、税金を投入して改修しなければならない。例えば、大篠原はきれいな水が流れていたが、道巾が狭いために側溝に蓋をしてしまったので水が見えなくなった。整備することは悪くないが、そのために景観を台無しにしてしまった。

街路樹を整備させて頂いても、地元が維持管理できなくなり、切ってほしいとの要望もある。維持管理には、市民の協力が必要である。

水路の復活については、市役所から守山に行く途中に、ガソリンスタンドがあり、その右手に湧水があった。維持管理は地元をお願いするという条件でポンプを整備させていただいたが、地元の維持管理のお金が回らなくなり今はストップしている。

道路を整備することで水路景観が失われ、維持管理ができなくなって街路樹を伐採することになる。お金をかけて、大切な景観をつぶしてはいけないと思う。市民の方に景観を守るために何が必要かを議論して頂き、後世に残るような素晴らしい景観を作っていきたい。

祇王井川の景観も守らなくてはいけないと思う。小学校の前は段差があり歩きにくい、これは、河川の断面を侵してはならないため、高い所にしか歩道を造ることができずこうなってしまった。

中の池川に桜などを植樹したいと、団体からの強い申し出がある。県とも話し合っているが、河川占用の決まりを守ってほしいとのこと。県は、河川の機能面しか考えおらず、景観という要素が盛り込まれていないのが実情。その辺りも踏まえて議論して頂ければ幸いである。

我々も景観を何とかしたい。一方で、市民のご協力も必要。そのためには市民を交えた議論が必要だと思っている。サポート頂ければ幸いである。

【委員長】 どの市でもそうであるが、今までは、安全とか安心とかが優先して土木工事が行われきた。景観は二の次だと。急激に日本が発展し、やむを得ない時期でもあった。今ここに来て両者が考え直そうという時期にある。

市民が、団体やグループを作ったりして、その活動を市にサポートしてもらうとか、市民が市に対し意見を言っていけないといけない。

話に上がった場所はいっぱいあり、この委員会で一つ一つを検討することはできないので、どうしても概論的な話になってしまう。ただ、やり方を見出すことについては話ができると思う。

景観計画が進んでいるところは、いろんな協議会ができています。協議会では

何世帯かが一緒になって、ルールを作っていくとも可能。それを市が支援するとか、そういうことに声をあげていく人達が出てくると良いと思う。

ホテルだけのことで良いし、そういうふうに広がって市民が繋がっていくことが非常に重要で、そういう体制をつくれるような方向に持っていくということを、この委員会で提案できればと思う。

【D委員】 事務局が言ったことは、私もよく経験している。お寺の木を切つてと言われているが、いやだと頑張っている。なぜ桜の木を植えたとか、楠の木、杉の木を植えたのかということが出てくる。

なので、例えば県の木や、野洲市のシンボルの木などを植えたらどうか。

また、川の問題とか、ホテルのことやザリガニなど、具体的なものを出して保護するとか守るとか、そういった形のキャンペーンをやる方法もあると思う。

【委員長】 非常に分かり易い。象徴的なものを1つ掲げて皆で進んでいくということ。

【C委員】 新しく作られた並木は、木の間隔は狭い。木が大きくなることを想定して、間隔は適当に広げておくべき。

竹藪は個人の持ち物だが、整備したらきれいになると思う。

守山の「びわこ地球市民の森」には、やたら木が植えてある。大きくなることを考えて植樹しないと、風景がつぶれてしまう。

【委員長】 植栽はデザインの1つ。木が成長することを忘れている場合がある。キャンペーン計画もそうだが、やたらと木が増えて見通しが逆に悪くなってしまうことがある。大事なご意見であった。

【A委員】 部長の意見、発想というか、立つべき立場を変えないと野洲市は良くなれないと思う。どういうふうにして素晴らしい野洲を創ろうかというロマンのある話をしているのに。素晴らしい野洲の景観を描いて、そこに接近していく、そのために行政としてどういう知恵があるのか。市だけでできないのだったら、県の力を借りていただきたい。

5年前、野洲市の環境基本計画で、自然の生態系や琵琶湖を守るために必要なものとして、内湖をつくることを位置付けた。この整備には数億円かかるものであったが、5年後の今になって、国も1億円の予算を付け出した。だから、今の行政のレベルで言っていられない。

素晴らしい景観を描いて、それに向けて市民も行政も協力して、そこに持っていくことが大切。

川に水がないと、ヘドロやゴミが溜まる。家の前がそうになると寂しいもの。

野洲市は比江の前で水が切れている。ここでは、どんな生活が強いられているのか。野洲川の計画づくりの人間の浅知恵でこうなったとしか思えない。そこをどう考えているのかを、市長を先頭に県や国の協力を得て、そこに水を取り戻すために奮闘するという決意を持って、住民の要望に答えていく立場でやらないといけない。

【H委員】 後何回、この会を持って頂けるのかなと思いながらこの場にいるが、これから各論に入っていくと思うが、もっと真剣になって話をしたいと思う。

我々はいずれ死んでいくが、孫に残していくため、将来、野洲のまちがどうあるべきか、ということから考えて、行政に立ち上がって頂きたい。

私は、先祖が残してくれたものを孫に残してほしいと思っている。

野洲駅前の委員会に、景観の委員が参加されていないのは疑問。

これから、現状を残したい、改善したい、また新たに創り出したい、これはまだ話したいことがあるが、泥水を飲むぐらいの気持ちで取り組んでいかないと。それだけ一生懸命になっていることをご理解頂きたい。

【委員長】 お二方には、言いにくいことをはっきりと言って頂いた。

今までのことは反省をせざるを得ないところがあるので、皆さんおっしゃっている。そこをこういう委員会を通して1つのビジョンをつくっていく姿勢は皆が認めざるを得ない。良い方向へ持っていくしかない。より景観を良くする仕組みを作っていくということに集中せざるを得ないかなと思う。

地元のことをよくご存知の方に集まって頂いているので、先ほどの各論的なところはいっぱいあると思う。委員会は毎日やれないので、こうしたことは、一つ一つ、小委員会を作ってやっていく方法もある。

大きな枠組みを作ろうというのがこの委員会の目的になるかと思う。皆さんの意見を反映して、こう言うときは役所が対応すべきだということを決めていけば良いかと思う。皆さんの限られた時間の中でやらなければいけないということで責任も感じている。今のお話しは思いとどめておきたいと思う。

【I委員】 私は大津の石山に住んでいる。石山も良いが、野洲は贅沢な環境を持っている地域だとつくづく感じている。

今、委員長が言ったように仕掛けや仕組みは戦略的にやらないといけない。手短かに言うと、やはり子供達を巻き込まないとダメだと思う。これからまちを支えていく子供達と地域と学校と、そういうものが一緒になって、私達のまちの景色をどうしていくのが巻き込まないといけないと思う。

もう1つは「景観のまち」ということを売りにしないといけないと思う。野洲は銅鐸だけではないと。すごく景色の良いところですよ。人の生活、工場、生活の匂いのするものも含めて、日本のいろんな良い景色を全部凝縮したようなまちですよ、と「野洲へいらっしやい！ そうしたら一通り日本の良い風景が見れますよ」みたいな売りの戦略があっても良いと思う。

朝鮮人街道の富波辺りは保存するべきと思うが、保存するとなると家屋の修復だとか、外見を残して生活を守るみたいな、行政による手立ても必要になる。名を残すということと、心を残すということは、分けて考えないといけないと思う。

湖南幹線が近江大橋から近江八幡の方へ抜けるが、これが中主の中央を通るとなると、並木を植えると町が区切られてしまう。そのため、並木を植えない方が良いと思う。

野洲川の旧河川沿いに、ビオトープではなく、何か景観を残せないか。

野洲は歴史的な文化財が豊富。西河原から出た木簡は重要文化財。日本の歴史の中で大変有名な文字が書いてある。考古学者でこれを知らない人はいない。日本語の主語と述語がちゃんと書いてある、漢語でない奈良時代の言葉が出てきた。文化が非常に深い場所である。

国道8号の近くに、大岩山の古墳群がある。国道に近くに古墳が丸裸に見えているところは殆どない。日本でも有数の古墳の有名な景色である。そういうものを残しておかないといけない。

もう一つ、さっきの議論の中で抜けていたと思われるもの、生物、生き物が関わった景観、虫とか魚とか鳥とか、生物だけでなく、嵐だとか風だとか雨だとかこういう自然現象も景観だと思う。こういうものを広く入れていかないと、

ただこの景色を残せば良いとか、この風景が素晴らしいとか、ここに木を植えれば良いという議論にしないほうが良いと思う。

【委員長】 景観だけでなく、まちづくりにもかかってくるが、子供達を巻き込むというか、先ほど、どんぐりのお話でもあったけども、そういうことは重要。共に同じ視線で物を見ていくことを、小さいときから育てていくことはすごく大事。

売り込むためには、宝探的な、まちの持っているもの、人も含めて自然・建物・物、何があるのかよく知る必要がある。それを皆で、まとめていくという作業が必要。売り込むことが良いことかどうかは別にして、野洲として自慢できることがあっても良いと思う。

生物の関わり、人間だけでは生きていけない。それぞれがいろんな役割を持っている。特に、木と人間は非常に密接に繋がっている。その辺をきちっと捉えていくことを最後にまとめていく必要があると思う。

今、バラバラに意見が出ている。事務局の方で次回きっちり拾って分かりやすくして頂きたいと思う。

【J委員】 2・3年前、家棟川の遊覧船を体験した。しかし、川には生活用品が沢山落ちていた。上流で捨てられたと思う。

観光案内では何を紹介して良いか分からない。食べ物は琵琶湖の魚があるが、兵主大社、錦織寺、近松さん以外にも商工観光として案内できる場所を作りたい。

家棟川も、もう少しきれいに清掃して頂きたい。川の中のゴミを拾うだけでも随分違うと思う。

【K委員】 私は、10年前から日野川の改修に関わっている。全ての木や竹等が伐採され、何も残らないような形になっているが、緑を残し、改修前の鳥や虫、魚といったものを改修後にどうやって維持継続していくか取り組んでいる。

川の中には物を設けることができないので、湖岸から仁保橋の間の河川の外に7箇所の緑地公園を整備し、そこに、日野川に生えていた木や植物を植樹している。後の維持・管理については、大きいところはNPOがやり、その他は地元がやることになっている。今年度も二箇所預かった。苗木を植えて5・6年になるところがあるが、ちょっと見られるような木に育ってきた。

先ほども水路の話があったが、日野川でも改修が始まるまでは、集落の中に日野川から防火用水や農業用水を引いていたが、改修後には水を引くことが許されなかった。どうしても水を残さないといけないということで、苦肉の策として、県、市の協力で違う法線から水を取って、現在、一年中水が流れる状態をキープしている。

光善寺川は、天井川で伏流水が多く、水を好む竹が生茂り景観を損ねている。

私は、新たに創る景観はそう多く出てくるものではなく、むしろ、今の景観を維持することが大切ではないかと思う。

【委員長】 皆さんから多くのご意見を頂いた。

今後の委員会の進め方について、もう一度確認しておきたい。資料9のフローチャートを確認いただきたい。

今日は自由に語って頂いたので、これをもう一度、事務局の方で景観形成方針(案)として再整理して頂き、次回の委員会で、更に議論を進めて深めていきたいと思う。

その案を基に、市民にパブリックコメントを実施していかなければいけないのではないかなと思っている。市民の意見を頂いた上で、第5回目に繋げていきたい。

そういう議論を踏まえて、景観形成方針を作成していく、たぶん基準の検討とか、届出対象など、その辺はかなり具体的なもので、もうちょっと先になるかと思うが、たたき台も作りながら、同時にやっていかないと、いつまでも進まないの、一本指針を出して頂ければと思う。それについては、皆さんに自由に意見を言えるようにしていきたいと思う。そのようなまとめ方をしていけたらと思う。いかがか？

また個別にこういうことをやろうという話が出てきたら、それで小委員会などを作るとか、ワークショップをするとかそういうふうに思う。

【事務局】 本日、熱心に議論を頂いたご意見については、次回の委員会でまとめたものを提案させて頂きたいと思う。時間が足りなかったと思うので、ご意見があれば、意見提出用紙に書いて提出をお願いしたい。

今回は、5月の下旬ぐらいに開催をさせて頂けるように準備をさせて頂きたいと思う。

具体的な日程等については、委員長と相談して、後日連絡させて頂く。

【委員長】 これをもって終了させて頂く。ありがとうございました。

終了